

令和6年度第1回 国土交通省大臣官房官庁営繕部入札監視委員会
議事概要

開催日及び場所	令和6年7月23日(火) Web開催	
出席委員	委員長 田辺 新一 (早稲田大学理工学術院創造理工学部建築学科教授) 委員長代理 浦江 真人 (東洋大学理工学部建築学科教授) 委員 岩島 秀樹 (大地法律事務所 弁護士) 大野 由香子 (慶應義塾大学商学部教授) 丹羽 秀夫 (公認会計士 税理士)	
審議対象期間	令和5年10月1日～令和6年3月31日	
抽出案件	(備考)	
工事 [小計]	4件	以下の議事について官庁営繕部より報告 ・官庁営繕部工事及び建設コンサルタント業務等の発注状況 ・指名停止等の運用状況 ・入札談合に関する情報等への対応状況 ・再度入札における一位不動状況 ・低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況 ・一者応札の発生状況 ・不調・不落の発生状況 ・高落札率の発生状況 ・再苦情処理に係る案件の有無
一般競争	4件	
公募型及び工事	-	
希望型指名競争	-	
指名競争	-	
随意契約	-	
コンサルタント業務	1件	
合計	5件	
委員からの意見・質問、それに対する国土交通省の回答等	意見・質問	回答
	特許庁総合庁舎改修(23)電気設備工事 ・特許庁はもともと電気設備容量がかなり大きい庁舎だったと思われるが、今回何か配慮した改修になっているのか。	・今回の改修工事では発電機の更新をしているが、容量自体は既存設備と変わらない。
	衆議院第二別館改修(23)機械設備その他工事 ・施工体制についてのヒアリングは必ず全ての入札業者に対し実施しているのか。 併せて、ヒアリングでの質問内容及び業者からの回答についてどのように評価・採点されているのか。 ・入札業者のうち1社について「無効」のコメントがされているが、ヒアリング状況をお伺いしたい。 ・賃上げの評価は、特に建設業界において、賃金が低いために実施しているのか。	・入札が有効であり、入札価格が予定価格以下だった業者については、ヒアリングを実施している。 施工体制確保の確実性や品質確保の実効性などについてヒアリングし、問題が無ければ加算点を付与している。 ・入札価格が調査基準価格未満だったため、施工体制その他品質確保の確認のための追加資料を依頼したが、提出がなされず「無効」とした。 ・建設に関してだけでなく、政府全体の取組として総合評価を行う場合に取り組んでいる。
	経済産業省総合庁舎改修(R5)建築その他工事 ・予定価格よりも高い価格での入札が続いているケースがよく見られるが、建築費の高騰等について予定価格に配慮がされているのか。 ・賃上げについて、どのように確認するのか。	・まだ工夫の余地はあるかもしれないが、可能な限り最新の実勢価格を用いるようにしている。 ・給与所得の源泉徴収票等の法定調書合計表、法人事業概況説明書や賃金引上げ計画の達成の確認を税理士・公認会計士等第三者が証明した書類により確認する。
	特許庁総合庁舎改修(23)機械設備工事 ・特になし	
	三田共用会議所外2件(23)改修実施図面作成等業務 ・特定天井改修とエレベーター改修をまとめて1つの入札対象とした理由を教えてください。 ・低入札価格応札者であるが、業務履行に問題ないと判断した理由を教えてください。	・業務単体が小規模であるため、業者が参加しやすいように発注単位の集約化を図った。また、三田共用会議所の天井改修は照明設備、空調設備等の設備改修を含んだ設計業務であり、他の2施設は、エレベーター設備の改修設計であることから類似の設計業務として合併して発注した。 ・この者は、歴史的建造物の特定天井の実績があるなど、技術力が高く、直接人件費の低減が図れると判断した。
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	